

気体検知管

- (1) 気体検知管と気体採取器の規格の組合せが正しいかを確認する。
- (2) 気体採取管の先端をチップホルダに差し込み、検知管を回転させる。
- (3) 検知管をチップホルダの溝に沿って倒し、先端を折り取る。Gマーク側の先端にカバーゴムをつける。
- (4) 折り取った検知管のGマークの矢印の向きに気体採取器の検知管取付口に差し込む。
- (5) ガイドラインに沿ってハンドルを最後まで引き、固定されたら手を離して約1分待つ。
- (6) ハンドルに指をかけながら90度回し、ハンドルが戻らないことを確認する。
(戻るときは(5)の状態にて約10秒待ち、再度この操作を行う)
- (7) 検知管を取り外し、目盛りを読む。
- (8) カバーゴムを外し、使用済み検知管は一般ガラスくずとして廃棄する。